

岡垣町には、100年の歳月に磨かれた地下水があり、良質の水を求めて町外から酒造所やビール醸造所などが続々と立地しています。

# 岡垣の水に辿り着く



酒質の向上と清純な仕込み水を求めて

岡垣町の水に関する逸話が、臨濟宗大徳寺派福聚山海蔵寺の「孝子助六の碑」に残されています。助六は、境内の鷲乃井の水を使って生活していたと、母親は102歳、助六自身も96歳まで生きたと伝えられています。地下水に恵まれた岡垣町ならではのエピソードです。

このお寺の隣接する地に、七曜酒造があります。

七曜酒造は安政元年（1854）に、現在のみやま市瀬高で「星隈酒造」として創業しました。伝統を守りながらも、さらに理想の酒造りを行うため、令和4年に、水の品質が優れた岡垣町内浦に醸造所を移転。仕込み水には、低温長期醸造に適した軟水である湯川山裾野の浅井戸（妙見乃井戸）を使用することにしました。この移転を機に社名を「七曜酒造株式会社」と改めました。

また、七曜酒造のシンボルマークは、北斗七星を象った七曜紋を使用しており、これは岡垣町で見ることができる天体現象「北斗の水くみ」と共通しています。

七曜酒造では、酒造所の背にある湯川山がかつて木綿間山（ゆうまやま）と呼ばれていたことにちなんだ「ゆうま」など、4種の日本酒を醸造。酒造所では、試飲コーナーや販売も行っています。



七曜酒造株式会社 岡垣町大字内浦715



## これまで、これからも

これまで、岡垣町のおいしい水を生かしたお酒が展開されてきました。

平成19年から販売している、町の名を冠した本格焼酎「岡垣」。そして令和4年からはこの焼酎と町特産の高倉びわを使って造られた、「岡垣びわ酒」を販売しています。

水を生かした日本酒・ビール・焼酎が、好みに合わせて気軽に堪能できるようになりました。



本格焼酎「岡垣」



岡垣びわ酒



株式会社 フクオクラフト 岡垣町大字内浦544



### 岡垣町の 地下水を使用した クラフトビール

株式会社フクオクラフトは、令和4年にアメリカンスタイルのクラフトビールを醸造・販売する会社として、内浦の国道495号沿いに醸造所とタップルーム（自社製ビールを提供する場所）を開設しました。

この地に開設する決め手となったのは、やはり水。岡垣町の地下水を使用し、年間40種類のクラフトビールを製造しています。

岡垣工場では、ブルワリーツアー（工場見学）をすることも可能です（要予約）。



### 水耕栽培による 発芽野菜の 促成栽培専門農場

株式会社セイル・オンは、全国でも有数の発芽野菜の促成栽培専門農場です。昭和51年に礫耕（れきこう）でかいわれ大根の生産を開始し、現在では、かいわれ大根のほか、豆苗、ブロッコリースプラウト、そばの芽など、色々な種類のスプラウトを栽培しています。

水耕栽培の決め手は水。良質の水がどれだけ豊富に有るかで決まります。岡垣町の地下水は、カルシウムやマグネシウムをたっぷりと含んだ硬水で、安心・安全でおいしいスプラウト野菜は、自然豊かな土地に育まれたおいしい水から生まれています。



株式会社 セイル・オン 岡垣町大字高倉567-1

